

令和 6 年 6 月 21 日現在

機関番号：11501

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K00491

研究課題名（和文）文芸誌を介して見る象徴派の小説研究 ジャンル論と集団性の観点から

研究課題名（英文）Research on Symbolist novels through literary and arts magazines: Perspectives from genre theory and collectivity

研究代表者

合田 陽祐（GODA, Yosuke）

山形大学・人文社会科学部・准教授

研究者番号：20726814

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：フランス19世紀末の主要な文学潮流である象徴派は、これまで詩の運動と理解されてきた。だがこの運動が当初、前衛小説の実験として出発したことは忘れられがちである。本研究では、たんに象徴派の「マイナー」ジャンルとしての小説を検討するのではなく、当時大流行した「小雑誌」と呼ばれる文芸誌を起点として、メディア論の観点と、集団性の観点から、文学史における「象徴派小説」の独特な立ち位置を明らかにした。この作業を通じて、西欧19世紀末前衛の再規定をおこない、社会的、文化史的視座から、彼らがいかにして文学場における自律性を獲得したのかをつまびらかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義は、上の欄でも述べたように、新規開拓分野であるにもかかわらず、一定の成果を収めたことにある。その主要な社会的意義は、国際性を帯びていたことである。報告者は、研究期間に、海外においてフランス語で5回にわたる発表をおこなった（うち国際会議2回）。また日本においても、国際シンポジウムの機会に、フランス語での発表をおこなった。以上により、国際的水準を担保しつつ、その成果を日本人以外の海外の研究者たちにも提示することができた。

研究成果の概要（英文）：The Symbolism, the major literary current of the late 19th century in France, has hitherto been understood as a poetry movement. However, it is often forgotten that this movement initially started as an experiment in avant-garde fiction. This study does not merely examine the novel as a 'minor' genre of the Symbolist movement, but takes as its starting point the literary magazines known as 'small journals', which were very popular at the time, and clarifies the unique position of the 'Symbolist novel' in literary history from the perspectives of media theory and collectivity. Through this work, We redefined the Western late 19th-century avant-garde and clarified how they acquired autonomy in the literary field from a socio-historical and cultural historical perspective.

研究分野：ヨーロッパ文学

キーワード：象徴主義 小雑誌 文学集団 メディア論 詩的小説 ジャンル論 デカダンス 自然主義

1. 研究開始当初の背景

フランス 19 世紀はリアリズムの時代である。これは絵画だけでなく、文学も同様である。

19 世紀文学を支配してきたのは(そしてその後の文学研究を支配してきたのも)スタンダール、バルザック、フローベール、ゾラである。いずれもリアリズムの系譜に位置する作家である。

これに対し、一般に、19 世紀末にはジャンルとしての小説は衰退し、代わって詩が覇権を握ったといわれる。マラルメを中心とする象徴派が台頭したためである。

以上を踏まえて、これまでは、小説のリアリズム(特筆すべきは世紀後半に隆盛した自然主義)詩の象徴主義という対立軸のもと、19 世紀文学史が語られてきた。

だが、象徴主義の起源となる「宣言」(1886)を仔細に検討すると、詩や劇と並んで、小説への言及が意外なほど多いことに気づく。そればかりか、当初象徴主義は、小説の運動として定義されていたとさえいえるのである。

むしろ象徴主義は、同時代の自然主義とは同じ方法では書かなかった。彼らの小説は、一部の玄人読者を対象とする、難解な「詩的小説」として創作されていたからである。

以上の文脈から、本研究は象徴派小説の総合的な検討に着手した。当初は、先行研究に基づき、比較的数の多い 1890 年代の象徴派小説の検討を構想していた。だが独自の調査の結果、上に述べてきたように、象徴派小説の起源が、1880 年代後半にあると解釈することもできるのである。そこで、『象徴派』や『独立評論』グループの小説美学や出版方法について、彼らのメディアの活用法に焦点をあてて考察をおこなうこととした。

2. 研究の目的

象徴派の小説を、個人的(単行本)レベルで検討するのではなく、集团的試みとして考察することが、本研究の目的であった。そのため、象徴派の多くの作家が協力したり、新たに創刊するなどした、小雑誌と呼ばれる前衛文学の定期行物メディアの分析に力点を置いた。

本研究で大きく取りあげたのは、自然主義との関係である。従来、自然主義からユイスマンスなどデカダン派への流れについては、比較的豊富に検討されてきた。象徴主義の小説家といえば、これまではエレミール・ブルジュ、モーリス・バレス、リラダン、ゲールモン、ローデンバックであり、文学史上、無数の小さなサークルの内部で起こった出来事ととらえられてきた。

だが本研究では、小雑誌を起点とする作家たちのグループに注目することで、象徴派小説を個々の作家の単独の試みとしてではなく、集団性の次元から考察することが可能となったのである。じっさい、雑誌を起点とした考察はこれまで皆無であった。文学流派としての象徴派が、どのように小説に着手したのか、そこにはいかなる戦略が含まれていたのか。このような観点から、われわれは初期象徴派のグループが持っていた、自然主義に対する複雑な関係性を明らかにするべくつとめた。

自然主義のグループは、自らの独立した定期行物を所有していなかった。これに対して、象徴派はグループごとに定期行物を発刊しており、一部のグループでは、複数の媒体を保持していた。象徴派はこうした定期行物を利用することで、自らの美学の正統性を主張し、また自然主義などの敵対するグループに対して、批判的な言説を展開したのである。

本研究では、自然主義と対立していた当時の大批評家ブリュヌチエールが、象徴派のグループに一定の評価を与えていたことに注目した。彼の批評を仲介することで、当時の小説場における自然主義と象徴派の対立が、より明示的に可視化できると考えたからである。

3. 研究の方法

従来、象徴派小説の起源は、レミ・ド・ゲールモンの『シックスティーン』(1890)に求められてきた。だが本研究では、自然主義との関係において、より重要な作家であるポール・アダンの注目した。アダンとジャン・モレアスの一連の共作小説や、アダンが単独で発表した『存在』(1888)や『舞台装置』(1891)さらにはアダンによる一連のゾラ論を詳細に分析することで、象徴派小説がいかなる要請から生まれたジャンルなのかを明らかにすることとした。

アダンは独特なキャリアを持つ作家である。はじめ自然主義の作家としてデビューし、いくつかの雑誌をとおして、自然主義や「小」自然主義のグループと関係性をもった。そののち、美学的不一致によりグループを離脱して、あらたにギュスタヴ・カーンらと象徴派のグループを設立する。とりわけメディア戦略や集团的著作の活用に長けた作家として、初期象徴派の詩学や美学の確立に大きく貢献した作家である。

本研究がとくに注目してきたのは、トレセ・ストックやヴァニエといった前衛小出版社と、アダンらが創刊した前衛定期行物の関係である。象徴派の小雑誌の大きな特徴は、定期行物だけでなく、単行本も出版していることにある。1890 年には『メルキュール・ド・フランス』や『白色評論』によって、象徴派小説は大発展を遂げるが、これについては一部の先行研究がある。ただし 1880 年代の未発達の小雑誌において、1. 外部の出版社と連携することで出版が実現していたことや、2. 独自の小規模な出版システムが確立されていたことについては、ほとんど言及がない。この 2 点に注目して研究を進めることとした。

4. 研究成果

期間中、フランス語での研究発表5回、国際会議への参加3回、学術論文9本を発表した。

その成果は大別して3つある。1. 1880年代の出版システムを雑誌メディアとの関係からつまびらかにしたこと。とりわけ、2024年2月にパリで主催した国際シンポジウム「象徴派プレス黄金時代における前衛小説(1885-1905)」での発表で、「メディア生態系」という新しい観点から、これを総合的に論じることができた。2. 象徴派小説の中心的な作家ポール・アダンの1880年代と90年代の作品の分析成果を論文で発表できたこと。1886年発表のモレアスとの2つの共作のほか、自然主義との決裂後の重要な作品である『自己』(1886)、オカルト小説『存在』(1888)や象徴派小説『舞台装置』(1891)の分析をおこなうことができた。その成果は、アレクシア・カランティスと共同で、フランスで刊行する『舞台装置』の校訂版に反映させた。3. 象徴派小説のジャンルの起源を確定できたこと。これはフランスのモンペリエで開催された国際シンポジウム「ネットワークのなかの自然主義」での発表とその議事録において、象徴派小説が自然主義の美学を反転させることで誕生したジャンルであることを論証することができた。

このほかにも、フランスの資料館で、未公刊資料の発掘作業をおこない、いくつかの重要な発見があった。その一部は、既発表の論文でも活用している。発見の多くについては、現在、並行して実施している国際共同研究の枠組みで発表することになっている。これら資料館で複写した資料や、パソコンで電子化した資料の分析成果を含めて、これまでに実施してきた調査・考察を、国際共同研究として単行本にまとめ、ナンテール大学出版局から公刊する予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 10件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 Yosuke GODA	4. 巻 -
2. 論文標題 Entre succession et rivalite : Les reseaux litteraires construits autour du roman symboliste	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Media19 (Universite Paul Valery Montpellier 3)	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田陽祐	4. 巻 122
2. 論文標題 新聞連載小説として読み直すアルフレッド・ジャリの『訪問する愛』	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 人文学報 (京都大学人文科学研究所)	6. 最初と最後の頁 383-402
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 合田陽祐	4. 巻 43
2. 論文標題 象徴派小説における演劇の位置 『グベールのお嬢様方』 (1886) の場合	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Les Lettres francaises	6. 最初と最後の頁 27-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 合田陽祐	4. 巻 41
2. 論文標題 定期刊行物から世紀末を読み直す (1) ポール・アダンと1880年代の小新聞グループ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 STELLA	6. 最初と最後の頁 317-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 合田陽祐	4. 巻 1
2. 論文標題 レミ・ド・グールモンから見たマラルメ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 マラルメの新世紀（水声社刊）	6. 最初と最後の頁 115-145
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田陽祐	4. 巻 43
2. 論文標題 象徴派小説における演劇的位置 『グベールのお嬢様方』（1886）の場合	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Lettres Francaises	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Yosuke Goda	4. 巻 1
2. 論文標題 Les Romans d'avant-garde a l'age d'or de la presse symboliste en France (1885-1905)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SERD (HP)	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田陽祐	4. 巻 15
2. 論文標題 世紀末小雑誌からみる前衛の試み 『プリューム』の「タペ」と若手グループの誕生	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nord-Est	6. 最初と最後の頁 35-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田陽祐	4. 巻 13
2. 論文標題 レミ・ド・グールモンの『シクスティース』再読 心理学の疾病研究の活用法を手がかりに	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nord-Est (日本フランス語フランス文学会東北支部会報)	6. 最初と最後の頁 14 - 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 合田陽祐	4. 巻 39
2. 論文標題 小説における象徴主義の記号理論 記号の循環と開かれた解釈をめぐって	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 STELLA (九州大学フランス語フランス文学研究会)	6. 最初と最後の頁 159-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 合田陽祐	4. 巻 18663号
2. 論文標題 中村隆夫著『象徴主義と世紀末世界』(改訂増補版、東信堂)(書評)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 公明新聞	6. 最初と最後の頁 第四面
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計11件(うち招待講演 2件/うち国際学会 3件)

1. 発表者名 Yosuke Goda
2. 発表標題 La Naissance du roman symboliste : Les editions autour de La Revue independante
3. 学会等名 Colloque international : Les Romans d'avant-garde a l'aube de la presse symboliste en France (1885-1905), organise par Yosuke Goda & Julien Schuh (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Yosuke Goda
2. 発表標題 Comment reconcilier la critique sociale et l' imagination scientifique ? La pratique mediatique autour des Lettres de Malaisie de Paul Adam
3. 学会等名 Colloque international franco-japonais : La Fiction epistolaire. Universite de Kyoto (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 合田陽祐
2. 発表標題 象徴主義のエコシステム グールモンによるマラルメ
3. 学会等名 マラルメシンポジウム2023 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yosuke Goda
2. 発表標題 Entre succession et rivalite : Les reseaux litteraires construits autour du ' ' roman symbolique ' '
3. 学会等名 Colloque international : NATURALISMES EN RESEAUX. APPROCHES RETICULAIRES ET CONNECTEES . Universite Paul-Valery Montpellier 3. Organise par Marie-Astrid Charlier, UPVM3-RiRRa21 / IUF (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yosuke Goda
2. 発表標題 Presentation du projet d' ouvrage Les Romans d'avant-garde a l'age d'or de la presse symboliste
3. 学会等名 Journee d'etudes : Romans symbolistes et petites revues
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yosuke Goda
2. 発表標題 L'amour selon Jarry
3. 学会等名 Festival : Commemoration a Saint-Brieuc pour feter le Cent cinquanteaire de la naissance d'Alfred Jarry
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yosuke Goda
2. 発表標題 Le groupe du Symboliste et ses activites dans le champ romanesque
3. 学会等名 Journee d'etudes de la SERD
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 合田陽祐
2. 発表標題 象徴派の「小雑誌」入門にかえて 1890年代の若い世代の役割を中心に
3. 学会等名 象徴主義研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 合田陽祐
2. 発表標題 世紀末の文芸生活のメディア化について 『プリューム』誌を中心に
3. 学会等名 日本フランス語フランス文学会東北支部大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 合田陽祐
2. 発表標題 1890年代の象徴派小説における作家のエートスーグールモンとジャリの場合
3. 学会等名 日本フランス語フランス文学会秋季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 合田陽祐
2. 発表標題 1890年代の象徴主義と小説 グールモンの『シクスティーン』を中心に
3. 学会等名 日本フランス語フランス文学会東北支部会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 Yosuke GODA	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Classiques Garnier	5. 総ページ数 1112
3. 書名 Oeuvres completes d'Alfred Jarry, tome VI	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>ワークショップ：象徴主義雑誌の黄金期における前衛小説（1885-1905） https://serd.hypotheses.org/11742</p> <p>国際シンポジウム：象徴主義雑誌の黄金期における前衛小説（1885-1905） Colloque international Les Romans d'avant-garde a l'aube de la presse symboliste en France (1885-1905), organise par Yosuke Goda & Julien Schuh https://www.fabula.org/actualites/118600/les-romans-d-avant-garde-a-l-age-d-or-de-la-presse-symboliste-en-france-1885-1905.html</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------